になろうと思ったので -どうして理科の先生

ーどんな高校生でした

かできないことをしっ

今できること、

当日のスケジュー

資料館見学

集合、昼食

諸注意、解散

碑巡り

かり頑張りましょう。

時間

9:00

9:30

10:20

12:00

13:00

14:30

15:30

任の藤井先生にインタ ビューを行った。

だったので・・・先生に

もともと理科は得意

出かけることが多いで

趣味である山登りに 休日の過ごし方は?

学習内容

資料館入口に集合、諸注意

平和学習講座 (国際会議場)

伝承者による被爆体験講話

いて、365日部活を

バレー部に所属して

していました。

-ル(Aグループ)

は「気がついたらなっ

ていた」という感じで

言お願いします。

-最後に、美高生に

今回は、1年4組担



令和二年十一月十八日 広島市立美鈴が丘高等学校 新聞文芸部 (四〇三演習室)

る「碑巡り②」である。 法で行われた。事前に いてポスターで説明す ごとに担当した碑につ 巡り①」と、グループ 学習した碑を巡る「碑 総合的な探究の時間で 公園内の全ての碑を回

そうに展示に見入って る生徒も多く、興味深 された。以来初めて入 に本館がリニューアル 資料館は、昨年4月

えたそうだ。しかし現 で7割程度来館者が増 日本人で2割、 外国人観光客が大幅に と、リニューアル後は 入場制限の影響もあり、 在は新型コロナによる 職員の方の話による なされた。 ついて、丁寧な説明が

碑巡りと 碑巡りは2種類の方 資料館見学

につれ。歌は、

歌

T.

アルバムです。

に平和公園でフィールドワーク(以下FW)が行われた。1年生新聞部員は、 1学年の生徒を対象

は入場制限がかかって 実施する予定だったが、 いる。そのため午前中 響で、資料館の入館に 話も、当初は1会場で 料館見学を行った。ま はグループA(1~3 た午後からの講座と講 組) とB (4~6組) に分かれて碑巡りと資 現在新型コロナの影 当した碑について、そ

クを通して戦争の悲惨 感することが出来た」 さや平和の大切さを実 グラムを終えた生徒は 議場で行われた。 一今回のフィールドワー FWでの全てのプロ

一を使って担当した碑を説明する1年生

2会場に分けて国際会

の方による体験講話の ることは出来なかった が、特にそれぞれが担

学びを我々次世代を担

念資料館の見学、平和 グラムは、広島平和記

今回のFWは「この

FWを行いつつ当日の様子を取材した。

11月11日(水)、総合的な探究の時間の一環として、

いくか」という視点で う若者がどう活かして

行われた。FWのプロ

学習講座、被爆伝承者 館職員の方による平和 公園内の碑巡り、資料

想いや願いなどを、改とに込められた様々な なったようだ。 めて考えるきっかけに

と感想を語った。 減少しているという。

ポスタ

い出の一曲を、当時の 介していただきます。 エピソードとともに紹 先生方の青春時代の思 今回は、家庭科の西 このコーナーでは、 歌は世につれ世は歌 時代の W A N I M A やってみよう 飯を作ろうと思っても 願いしました。 に座り込んでいました。 村先生にコメントをお uによる三太郎シリー すると、テレビからa やる気が出ず、ソファー 仕事が終わって夕ご

ワーをくれます。疲れ 出て、前向きに動くパ るときに聞くと元気が 疲れ、悪い方向に考え う 誰でも最初は初心 にか子どもと笑顔で しいより面白い ズのCMとともに「正 たときに、ぜひ皆さん た。この曲は、忙しく 緒に口ずさんでいまし 者なんだから」が流れ たいことをやってみよ も聞いてみてください。 てきました。いつの間

り前が、当たり前では

なくなった―そう感じ

与えた。今までの当た

の生活に大きな影響を

新型コロナウイルス

鈴

鈴

る人も多いだろう

国際会議場で平和講座と講話

曲名

アーティスト

過程や被害の大きさ、 た。原爆投下にいたる 平和学習講座が開かれ 核兵器のない世界を目 資料館職員の方による 指した取り組みなどに 午後は国際会議場で

た原爆の種類について、 広島・長崎で落とされ 模型や原寸大の写真を まず、原爆の原理や

> その後、広島で使用さ 使って説明があった。 知ることができた。 され、被害の大きさを した実験映像が映し出 れた原爆の熱風を再現 また、現在の核兵器

紹介があった。ICA を求める団体について 核兵器禁止条約の支持 ンペーン)と呼ばれる に 関する 条約 や ICA N(核兵器廃絶国際キャ

ベル平和賞を受賞して Nは2017年にノー

である。この事実につ

「日常」を奪われた人々

いて、私たちは幼いと

あの日の広島に生きて

い。75年前の8月6日。 ナウイルスだけではな

いた人々もまた、突然

を奪ったのは新型コロ

かし人々の当たり前

ンティアで、広島市が 養成している。 伴い被爆体験や平和へ は、被爆者の高齢化に の思いを受け継ぐボラ 体験を聞いた。伝承者 から被爆者の生々しい 講話では、伝承者の

終わった事ではないと 来事を考えて欲しい、 を込めて話された。 認識して欲しい」と力 講師の方は「この出



資料館の展示に見入る様子(上)と、 メモを取り講座を聴く様子 <u>F</u>

じることにはためらい がある。私たちの平和 がなければ平和」と断 る。だが反対に「戦争 平和を守る第一歩だろ けれど「私の平和」 世界、助け合う世界。 ずだからだ ▼戦争の 紛争で社会が乱れてい か。辞書には「戦争や を持っているはずだ きから平和学習を通じ え発信していくことも、 そして小さい。一人一 ある。平和は大きく、 ない世界、笑顔のある 身近なところにあるは への第1歩は、もっと ない状態」と書いてあ ▼平和とはなんだろう て学んできた。一人一 人が平和について思い 人が「私の平和」を考 「世界の平和」もある

後 記

(細木桃香)

たFWになりました。 天気もよく、充実し